

(10) 子どもの安全・防犯対策事業

整理 No	10	評価単位名	子どもの安全・防犯対策事業			
担当課	学校運営課	評価責任者	学校運営課長 鈴木 さよ子	担当係 グループ名	学校運営係	

事業の目的・目標

目的/ 根拠法令等	各学校(園)が教育目標や教育ビジョンを達成するため、教育環境をより充実したものとする。
目標	児童・生徒・園児の安全が確保され、安心して学校(園)生活を送れるよう、防犯対策をすすめる

目標に対する達成見込み

達成度指標	算定式等指標 の説明	ベースライン (19年度)	20年度 見込み	ベースラインに 対する 達成見込み	目標値	目標設定の考え方
					(達成年度)	
講習会回数・参加校 数		1回 22校	1回 23校	104.5%	3回 170名 (22年度)	小学校全23校が参加する。
スクールガードリー ダーによる巡回指導 回数		8	10	125%	23 (25年度)	小学校全23校において実施する。

主な取り組みと事業をとりまく社会状況

事業内容	学校の登下校時の安全確保を図るため新1年生児童に防犯ベルを貸与する。また、スクールガード養成講座の実施、通学路の安全を確保するため、スクールガードリーダーによる巡回指導を行う。				
運営形態		委託の内容			
主な取り組み内容		平成17年度	平成18年度	平成19年度	事業をとりまく社会状況
スクールガード講習会参加回数人数			55人	41人	各地で学校の安全を脅かす事件が発生しており、生命の安全を十分に確保し、安全に学校生活を送れるよう事業の果たす役割は大きい。
スクールガードリーダー委嘱人数			2人	2人	

事業コスト

(単位:千円)

構成事務事業	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度 (計画)	重要度	今後の 注力度
学校安全安心事業		389	807	1,054	A	継続
直接事業費 計 A	0	389	807	1,054	(人件費の取扱い等)	
人件費 (正規職員数)		(0.6)	(0.3)	(0.3)		
(非常勤等職員数)		(0.0)	(0.0)	(0.0)		
(事業費計上非常勤等職員数)						
人件費 計 B	0	5,056	2,590	2,457		
支出 計 C=A+B	0	5,445	3,397	3,511		
収入 国庫(都)支出金		25	26			
受益者負担分						
その他						
収入計 D	0	25	26	0		
一般財源充当額 E=C-D	0	5,420	3,371	3,511		

現状の評価

A.予想を上回って達成した場合 B.大体計画どおりにできた場合 C.理想の状態を下回っている場合

評価の視点	達成度	達成度及び今後の課題についてのコメント
適切性 (満足度、サービス水準)	B	全校学区で実施できていない現状から考慮すると、まだ満足度において足りない部分がある。
効果性 (財務と施策水準の視点)	A	地域の目で、地元の子どもたちを守るという意識を強く持つことができ、常に小中学校に通う児童・生徒に関心を持ってもらうという効果がある。また、巡回が犯罪抑止に大きな効果を上げている。
業務改善 (内部プロセスの視点)	B	全校学区で実施できるよう改善していく。
人材育成 (学習と成長の視点、人的資源の最大化)	B	学校安全ボランティア(スクールガード)を多く育成し、さらにその中から将来的には、スクールガードリーダーを輩出できるように、講習会や巡回を充実していく。

今後の取組みと予算への反映

	取組み内容	必要(不要)となる経費	影響額(千円)
重点・新規事項	PTAとの連携を深めていく		
見直し事項	スクールガード講習会の実施時期を早めていくことにより、スクールガードリーダーによる巡回指導回数を増やしていく。		

総合評価

現状の評価	A 成果をあげている (B) 普通 C 不十分
今後の事業の注力度	(A) 拡充 B 継続 C 縮小
< 上記判断の理由と今後の改革方針 >	
今後PTAへの働きかけなどにより、子どもの安全確保のための仕組みづくりをすべての学校で行っていく必要がある。	